



交通バリアフリーニュース

改正バリアフリー法説明会及び

バリアフリー整備ガイドラインセミナー ～香川県高松市～



○改正バリアフリー法説明会

日時：平成30年10月23日(火)

13:30～15:00

場所：サンポート合同庁舎アイホール

参加者数：自治体関係者、交通事業者等41名

四国運輸局は本年5月に改正・公布された「改正バリアフリー法」の説明会を開催しました。

説明会では、国土交通省総合政策局安心生活政策課 奈良課長から、改正バリアフリー法の

概要や、新たに創設された市町村がバリアフリー方針を定めるマスタープラン制度についての説明がありました。

また、説明会後は自治体関係者を対象に、マスタープラン制度に関する相談会を開催し、各自治体からは現状報告や質問がありました。

○バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナー

日時：平成30年10月22日(月) 13:30～16:15

場所：サンポート合同庁舎アイホール

参加者数：交通事業者、自治体関係者等33名

「バリアフリー法」の改正に合わせて見直しが行われた、バリアフリー基準とバリアフリー整備ガイドラインについてのセミナーが、交通エコロジーモビリティ財団等の主催で開催されました。

セミナーでは、各講師から、四国におけるバリアフリーの現状報告やガイドライン改定の主なポイント(バリアフリー経路の拡充、視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法、鉄道車両の車椅子スペース増設等)について解説がありました。

また、全国脊髄損傷者連合会香川支部 田村治仁氏からは、「当事者からの期待と課題」と題して、交通機関を利用した時の経験を交えながら、「障害のある人もない人もともに理解を深めることが大切」との話があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

公共交通事故被害者等支援フォーラム及び

障害者差別解消法セミナーを開催

～高知県高知市～

【開催日時】 平成30年12月7日（金） 13:00～16:00

【開催場所】 高知市文化プラザ かるぼーと中央公民館 第3学習室

【出席者】 29名

公共交通事業者：9名（鉄道1、バス8）

業界団体：1名

自治体他行政機関等：8名

報道機関：1名

運輸局：4名

その他一般：6名（うち1名タクシー）

【概要】

I 公共交通事故被害者等支援フォーラム

- | | | |
|-----------------------|--------------------------|--------|
| (1) 「被害者の立場から望むこと」 | 鉄道安全推進会議共同代表 | 下村 誠治氏 |
| (2) 「公共交通事故被害者等支援の現状」 | 国土交通省四国運輸局
消費者行政・情報課長 | 小野めぐみ |
| (3) 「警察における被害者支援について」 | 高知県警察本部
県民支援相談課課長補佐 | 仁井田和久氏 |

II 障害者差別解消法セミナー

- | | | |
|--------------------|----------------------------|--------|
| (1) 「障害者差別解消法について」 | 国土交通省四国運輸局
消費者行政・情報課長補佐 | 出海 博史 |
| (2) 「障害者手帳等について」 | 高知県障害福祉課長 | 西野 美香氏 |



フォーラム&セミナー会場全景



下村アドバイザー講演

バリアフリー法に基づく 四国におけるバリアフリー化の進捗状況

（公共交通事業者等からの公共交通移動等円滑化実績等報告書の集計結果概要（平成 29 年度末））

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下「バリアフリー法」という。）第 53 条に基づく公共交通事業者等からの移動等円滑化実績等報告（平成 29 年度末における公共交通機関のバリアフリー化の状況）の四国における概要を以下のとおりお知らせいたします。

公共交通機関におけるバリアフリー化の進捗状況〈ポイント〉

◆全旅客施設（対象 33 施設）（平成 28 年度対象施設は 31 施設）

・ 段差の解消	<u>87.9%</u>	（H28 年度末より 15.3 ポイント増加）
・ 視覚障がい者誘導用ブロック	<u>93.9%</u>	（同 6.8 ポイント増加）
・ 障がい者用トイレ	<u>93.1%</u>	（同 11.6 ポイント増加）

※障がい者用トイレ設置施設数 29 施設（28 年度は 27 施設）

◆車両等

・ 鉄軌道車両	<u>23.1%</u>	（H28 年度末より 3.5 ポイント増加）
・ ノンステップバス	<u>48.6%</u>	（同 4.6 ポイント増加）
・ 福祉タクシー	<u>693 台</u>	（同 23 台 増加）
・ 旅客船	<u>43.4%</u>	（同 3.6 ポイント増加）

平成 23 年 3 月 31 日にバリアフリー基本方針が改正（新基本方針）され、平成 32 年度までに、1 日当たりの平均的な利用者数が 3,000 人以上の全ての旅客施設（鉄軌道駅、バスターミナル、旅客船ターミナル及び航空旅客ターミナル）について、原則としてバリアフリー化を実施する等の目標が掲げられました。

なお、車両等を含めた平成 29 年度末における四国における集計結果概要は、次ページに掲載しています。

公共交通事業者等からの移動等円滑化実績等報告書の集計結果概要
(平成 30 年 3 月 31 日現在)

バリアフリー法に基づき、公共交通事業者等は毎年 5 月 31 日までに移動等円滑化実績報告書を提出しなければならないこととなっています。

○ 旅客施設(1 日当たりの平均的な利用者数が 3,000 人以上のもの)

〈段差の解消〉

旅客施設全体…(H29年度末87.9%)

	総施設数		移動等円滑化基準(段差の解消)に適合している旅客施設数		総施設数に対する割合			
	(目標値:100%/H32年度)	H29年度末	H28年度末	H29年度末	H28年度末	H29年度末	対前年度増減	H28年度末
鉄軌道駅		28	27	24	19	85.7%	15.3	70.4%
バスターミナル		0	0	0	0	-	-	-
旅客船ターミナル		1	1	1	1	100.0%	0.0	100.0%
航空旅客ターミナル		4	3	4	3	100.0%	0.0	100.0%

1)「段差の解消」については、バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準第4条(移動経路の幅、傾斜路、エレベーター、エスカレーター等が対象)への適合をもって算定

2)航空旅客ターミナルについては、障害者等が利用できるエレベーター・エスカレーター・スロープの設置はすでに平成13年3月末までに100%達成されている

〈視覚障がい者誘導用ブロックの設置〉

旅客施設全体…(H29年度末93.9%)

	総施設数		移動等円滑化基準(誘導用ブロックの設置)に適合している旅客施設数		総施設数に対する割合			
	(目標値:100%/H32年度)	H29年度末	H28年度末	H29年度末	H28年度末	H29年度末	対前年度増減	H28年度末
鉄軌道駅		28	27	26	23	92.9%	7.7	85.2%
バスターミナル		0	0	0	0	-	-	-
旅客船ターミナル		1	1	1	1	100.0%	0.0	100.0%
航空旅客ターミナル		4	3	4	3	100.0%	0.0	100.0%

1)「視覚障がい者誘導用ブロックの設置」については、バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準第9条への適合をもって算定

〈障がい者用トイレの設置〉

旅客施設全体…(H29年度末93.1%)

	総施設数		移動等円滑化基準(障がい者用トイレの設置)に適合している旅客施設数		総施設数に対する割合			
	(目標値:100%/H32年度)	H29年度末	H28年度末	H29年度末	H28年度末	H29年度末	対前年度増減	H28年度末
鉄軌道駅		24	23	22	18	91.7%	13.4	78.3%
バスターミナル		0	0	0	0	-	-	-
旅客船ターミナル		1	1	1	1	100.0%	0.0	100.0%
航空旅客ターミナル		4	3	4	3	100.0%	0.0	100.0%

1)「障がい者用トイレの設置」については、バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準第13条~15条への適合をもって算定

2)総施設数については、トイレを設置(停留場を除外)している旅客施設のみを計上

○車両等

	車両等の総数		移動等円滑化基準に適合している車両等の数		車両等の総数に対する割合			
	(目標値:H32年度)	H29年度末	H28年度末	H29年度末	H28年度末	H29年度末	対前年度増減	H28年度末
鉄軌道車両 (目標値:約25%/H32年度)		692	693	160	136	23.1%	3.5	19.6%
ノンステップバス(適用除外認定車両を除く) (目標値:約70%/H32年度)		962	954	468	420	48.6%	4.6	44.0%
リフト付きバス(適用除外認定車両) (目標値:約25%/H32年度)		535	530	2	1	0.4%	0.2	0.2%
福祉タクシー (目標値:約1,500台/H32年度)		-	-	693	670	-	23台	-
旅客船 (目標値:約50%/H32年度)		99	98	43	39	43.4%	3.6	39.8%

1)「移動等円滑化基準に適合している車両等」は、各車両等に関する公共交通移動等円滑化基準への適合をもって算定

《参考》公共交通事業者等からの移動等円滑化実績等報告書の四国における集計結果概要
(平成 30 年 3 月 31 日現在)

バリアフリー法に基づき、公共交通事業者等は毎年5月31日までに移動等円滑化実績等報告書を提出しなければならないこととなっています。この資料は、参考として旧基本方針の目標に照らした形式で別途集計を行ったものである。

○ 旅客施設 (1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上のもの)

〈段差の解消〉

旅客施設全体…100%

(目標値:100%/H22年)	総施設数	移動等円滑化基準(段差の解消)に適合している旅客施設数	総施設数に対する割合
	H29年度末	H29年度末	H29年度末
鉄軌道駅	12	12	100.0%
航空旅客ターミナル	2	2	100.0%

1)「段差の解消」については、バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準第4条(移動経路の幅、傾斜路、エレベーター、エスカレーター等が対象)への適合をもって算定

〈視覚障がい者誘導用ブロックの設置〉

旅客施設全体…100%

(目標値:100%/H22年)	総施設数	移動等円滑化基準(誘導用ブロックの設置)に適合している旅客施設数	総施設数に対する割合
	H29年度末	H29年度末	H29年度末
鉄軌道駅	12	12	100.0%
航空旅客ターミナル	2	2	100.0%

1)「視覚障がい者誘導用ブロックの設置」については、バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準第9条への適合をもって算定

〈障がい者用トイレの設置〉

旅客施設全体…100%

(目標値:100%/H22年)	総施設数	移動等円滑化基準(障がい者用トイレの設置)に適合している旅客施設数	総施設数に対する割合
	H29年度末	H29年度末	H29年度末
鉄軌道駅	10	10	100.0%
航空旅客ターミナル	2	2	100.0%

1)「障がい者用トイレの設置」については、バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準第13条～15条への適合をもって算定

2)総施設数については、トイレを設置している旅客施設のみを計上

○車両等

	(目標値:H32年度末)	車両数の総数	移動等円滑化基準に適合している車両等の数	車両等の総数に対する割合
		H29年度末	H29年度末	H29年度末
鉄軌道車両	約25%	692	160	23.1%
ノンステップバス(適用除外認定車両を除く)	約70%	962	468	48.6%
リフト付きバス(適用除外認定車両)	約25%	535	2	0.4%
福祉タクシー	約1,500台	—	693	—
旅客船	約50%	99	43	43.4%

1)「移動等円滑化基準に適合している車両等」は、各車両等に関する公共交通移動等円滑化基準への適合をもって算定

その他、バリアフリー推進施策フォローアップ

(1) 総合的な整備の推進

*交通事業者、自治体、国等の連携等により旅客施設や車両等のバリアフリー化が進みました。

<平成29年度中にバリアフリー化が進んだ主な鉄軌道駅>

☆段差の解消

・四国旅客鉄道(株)	新居浜駅、伊予西条駅		
・高松琴平電気鉄道(株)	仏生山駅		
・伊予鉄道(株)	道後温泉停留所	等	計7駅（合計141駅※）

☆視覚障がい者誘導用ブロックの整備

・四国旅客鉄道(株)	伊予西条駅		
・高松琴平電気鉄道(株)	仏生山駅	等	計9駅（合計222駅※）

☆障がい者対応型トイレの設置

・四国旅客鉄道(株)	新居浜駅、伊予西条駅		
・伊予鉄道(株)	道後温泉停留所	等	計7駅（合計64駅※）

※四国の全駅（492駅）に占める適合駅の合計

<平成29年度中に導入されたバリアフリー車両等>

☆鉄軌道

・鉄道車両	7両
・軌道車両	3両

☆乗合バス

・ノンステップバス	54両
・ワンステップバス	7両

☆旅客船

・バリアフリー基準適合船	4隻
--------------	----

(2) 運輸局における推進施策

①	バリアフリー推進体制の整備	*第11回バリアフリー推進四国地域連絡会議 平成30年2月26日開催 *改正バリアフリー法説明会 平成30年10月23日開催
---	---------------	---

②	ソフト面の バリアフリー 推進施策	<p>*小学生や交通事業者従業員等を対象にしたバリアフリー教室を開催しました。</p> <p><バリアフリー教室開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成30年 6月 6日 対象：高松市立香西小学校 4年生 88名 ○平成30年10月10日 対象：高松市立花園小学校 3年生 44名 ○平成30年11月13日 対象：徳島市立上八万小学校 4年生 50名 ○平成30年11月16日 対象：藍住町立藍住西小学校 4年生 89名 ○平成30年11月23日 対象：田野町 田野町町民等産業祭り参加者 ○平成30年12月 6日 対象：高知龍馬空港 空港関係従業員等 13名
③	段階的・継続的なバリアフリーの推進	<p>*平成30年2月26日第11回バリアフリー推進四国地域連絡会議を開催し、取組の共有、意見交換を行いました。</p>
④	バリアフリー基本構想及びバリアフリー化促進方針の作成支援	<p>*基本構想作成後、年月が経過している自治体や、3千人/日以上旅客施設を有するものの、基本構想が未策定の自治体に対して基本構想の作成・見直しについて、また、具体事業を位置づけずバリアフリー化の方向性を示すマスタープラン制度について、プロモートを実施しました。</p> <p><平成30年度プロモート実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成30年10月 香川県高松市 ○平成30年11月 香川県観音寺市
⑤	バリアフリー化財源の確保	<p>*バリアフリー関係補助事業等を活用し、旅客施設及び車両等のバリアフリー化が進みました。なお、車両等に係る補助実績は以下のとおりです。</p> <p>平成29年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通サービスインバウンド対応支援事業（インバウンド対応型鉄軌道車両整備） <ul style="list-style-type: none"> ・低床式鉄道車両 3両（補助額） 215,333千円 ○交通サービスインバウンド対応支援事業（交通サービス利便向上促進事業） <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインタクシー 4両（補助額） 2,400千円 4両（29年度補正予算） <p>平成29年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通確保維持事業（車両減価償却費等） <ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバス 34両 ・リフト付きバス 1両

(3) 交通事業者におけるバリアフリー推進施策

①	旅客施設及び車両等の整備計画	<p>*交通事業者や運輸局関係部との情報交換等により、交通事業者のバリアフリー推進計画の把握に努めました。</p>
②	ソフト面の対応	<p>*平成30年12月6日高知龍馬空港において、空港内の従業員等を対象としたバリアフリー教室を開催しました。</p>

バリアフリー教室・バスの乗り方教室を開催

高松市立花園小学校

(平成 30 年 10 月 10 日)

平成 30 年 10 月 10 日(水)、四国運輸局は、高松市立花園小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。教室には同小学校 3 年生 44 名が参加しました。

バスの乗り方教室では、高松市交通政策課及びことでんバス株式会社の協力を得て、ノンステップバスを校内に持ち込み、公共交通の大切さを学んだほか、IC 乗車券の使い方や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学び、車椅子利用者のバス乗降介助の実演やバス内部における固定方法を見学しました。

バリアフリー教室では、社会福祉法人高松市社会福祉協議会職員及び香川県立盲学校教員の指導のもと、車椅子利用者疑似・介助と視覚障がい者疑似・介助の二つの体験を行いました。

車椅子体験では学校内のスロープや段差を上り、利用する人の大変さを体験するとともに、介助方法を学びました。また、視覚障がい者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加した小学生のみなさんは、講師の話をしっかりと聞き、実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。



熱心に質問～モビリティマネジメント～

徳島市立上八万小学校

(平成 30 年 11 月 13 日)

平成 30 年 11 月 13 日(火)、四国運輸局と徳島運輸支局並びに徳島市交通局は、上八万小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には、4 年生 50 名が参加。バスの乗り方教室では、徳島市交通局のノンステップバスを校内に持ち込み、行き先の確認方法や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学習するとともに、バスに乗降する車椅子利用者の介助方法やバス内部における固定場所の見学をしました。バリアフリー教室では、徳島市社会福祉協議会、社会福祉法人青香福祉会、徳島県立障がい者交流プラザ・視聴覚障がい者支援センターの講師の指導のもと、車椅子利用者疑似・介助体験と視覚障がい者疑似・介助体験を行いました。



少しのバリアも大変 ～車椅子利用者の疑似・介助体験

車椅子体験では利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障がい者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加した小学生のみなさんは、講師の話を聞き実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。

藍住町立藍住西小学校

(平成30年11月16日)

平成30年11月16日(金)、四国運輸局と徳島運輸支局は、藍住町立藍住西小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には、4年生89名が参加。バスの乗り方教室では、徳島バス株式会社の協力を得て、ノンステップバスを校内に持ち込み、整理券の取り方や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学び、車椅子利用者のバス乗降介助の実演やバス内部における固定方法を見学するとともに、バスの内輪差の学習もしました。

バリアフリー教室では、障がい当事者の方や藍住町社会福祉協議会職員及び社会福祉法人凌雲福祉会職員の指導のもと、車椅子利用者疑似・介助と視覚障がい者疑似・介助の二つの体験を行いました。

車椅子体験では利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障がい者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加した小学生のみなさんは、講師の話をしっかりと聞き、実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。

**階段、気をつけて ~視覚障がい者の疑似・介助体験~****高知龍馬空港**

(平成30年12月6日)

平成30年12月6日(木)、高知空港事務所及び四国運輸局は、「特定非営利活動法人 要約筆記高知・やまもも」の協力を得て、高知龍馬空港(高知県南国市)において「バリアフリー教室」を開催しました。

教室には、高知龍馬空港ユニバーサルデザイン推進部会構成員や空港関係従業員ら13名が参加。

「要約筆記高知・やまもも」の講師から、聴覚障害者とのコミュニケーションについて、先天的な失聴と後天的な失聴・難聴とではコミュニケーション方法が異なり、手話のできない方のコミュニケーション手段は文字であることや、※要約筆記・筆談をする時に注意すべき点等について講義をしていただきました。

例えば、「100均ノート×3 買ってきて」と書いた場合、聴覚障害者には「同じノートを3冊買う」とは理解されず、「×」を「バツ」ととらえて、3冊とも違うノートを買ってしまうこともあるとのことでした。

**実技・場面对応「わたし耳が聞こえんがよ〜」**

また、要約筆記を行う場合、副詞や助詞などは伝わりにくいことや、「楷書で大きく書く」、「二重否定や、言い切りはしない」ことなどの説明がありました。

実技演習では、やまももさんの迫真の演技(話せるが、聴覚障害ありの設定)に、参加者も最初は戸惑いつつも、それぞれにどうすれば相手に伝わるかを考えながら筆談に臨んでいました。

参加者は、今回のバリアフリー教室での講義や実技体験を通して、聴覚に障害のある方への接遇、対応の方法や「心のバリアフリー」の大切さを改めて認識することができました。

◇申し込み方法◇

バリアフリー教室開催をご希望の方は、お電話又はメールにて、消費者行政・情報課までご連絡ください。

TEL : 087-802-6727

MAIL : skt-Shikoku-shohisha@ml.mlit.go.jp

担当：出海、谷本

ご連絡の際は、以下の内容をお伝え願います。

- ①学校名
- ②窓口となる先生の氏名
- ③連絡先電話番号
- ④対象学年
- ⑤クラス数、人数
- ⑥開催希望日（第1～3希望）
- ⑦開催時間帯（午前か午後か）

みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政・情報課まで、FAXまたはメールでお寄せください。



〒760-0019 香川県高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎南館(4F)

電話 087(802)6727

FAX 087(802)6723

Email: skt-Shikoku-shohisha@ml.mlit.go.jp



四国運輸局ホームページも是非ご覧ください

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/>

このニュースは、交通バリアフリー関係の話題を中心に、四国4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。